

平成 25 年度

# ビジットおきなわ計画

—世界水準の観光リゾート地の形成に向けて—



沖縄県文化観光スポーツ部

# ビジットおきなわ計画とは

「ビジットおきなわ計画」は、長期計画である「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」、「沖縄県観光振興基本計画」を踏まえ、単年度ごとの数値目標とその達成に向けた主な施策展開を盛り込んだ具体的な誘客行動計画です。

## 沖縄観光の現況

### 1 入域観光客数・観光収入の推移

平成 24 年度の観光客数は 592 万人と過去最高の平成 20 年度に次ぐ結果となった。

観光収入は 4,041 億円と前年度実績を上回る見込み。

注) 平成 24 年度の観光収入は見込み値

注) 四捨五入のため、合計が一致しない場合がある。

注) 特例上陸者を含む。



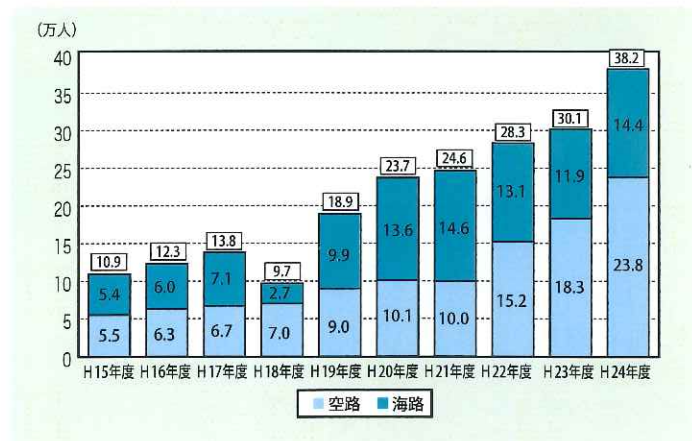
### 2 外国人観光客数の推移

平成 24 年度の外国人観光客数は、過去最高の約 38 万人となった。

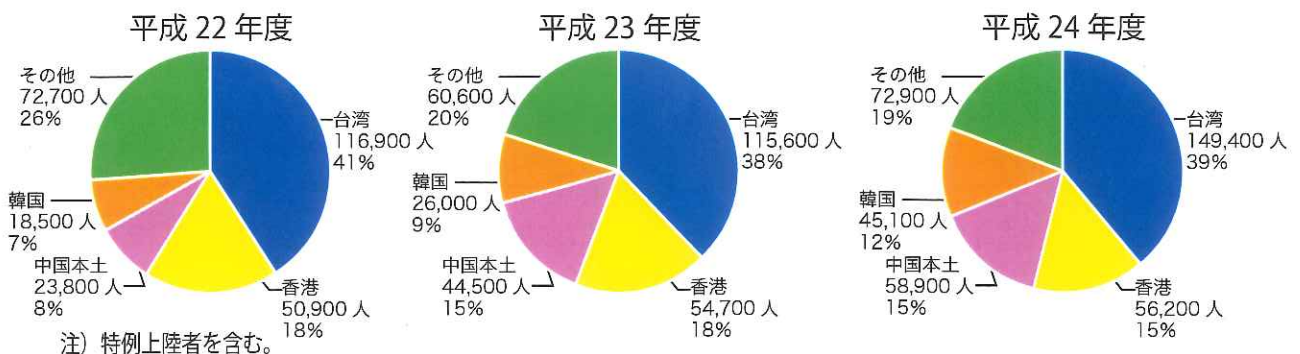
空路については、過去最高の約 24 万人となり、海路は、過去最高の平成 21 年度に次ぐ結果となった。

注) 四捨五入のため、合計が一致しない場合がある。

注) 特例上陸者を含む。



### 3 外国人観光客の国籍別構成比



#### 4 観光客一人当たりの消費額の推移

平成 24 年度の観光客一人当たりの消費額は、対前年度比約 0.44% 増の 68,727 円となる見込み。

注) 平成 24 年度の数値は見込み値

注) 特例上陸者を含む。



#### 5 平均滞在日数の推移

平成 24 年度の平均滞在日数は、前年度と同じ 3.83 日となる見込み。

注) 平成 24 年度の数値は見込み値

注) 国内客のみの数値



## 平成25年度の数値目標と戦略概要

### ■数値目標

項目	平成25年度 目標値	対前年度比	平成24年度
観光収入	4,740 億円	( 17.6% )	4,030 億円 (見込み値)
(うち外国人観光客)	360 億円	( 59.3% )	226 億円 (見込み値)
観光客一人当たりの県内消費額	75,000 円	( 9.1% )	68,727 円 (見込み値)
(うち外国人観光客)	73,000 円	( 3.9% )	70,274 円 (見込み値)
平均滞在日数	3.95 日	( 0.12日 )	3.83 日 (見込み値)
(うち空路外国人観光客)	5.50 日	( 0.28日 )	5.22 日 (見込み値)
人泊数	1,870 万人泊	( 12.0% )	1,669 万人泊 (見込み値)
(うち空路外国人観光客)	167 万人泊	( 67.0% )	100 万人泊 (見込み値)
入域観光客数	630 万人	( 7.5% )	586 万人
(うち外国人観光客)	50 万人	( 56.3% )	32 万人

※外国人の入域観光客数は、特例上陸者（国際航路の乗務員などの一時上陸者）を除いた数値

## ■戦略概要

### 平成25年度数値目標の達成にむけた施策展開の概要

#### 戦略1 国内外における戦略的な誘客活動の展開

平成25年度は、海外市場における沖縄認知度の向上を目的に平成24年度に策定したエリア毎の戦略に基づき、海外における観光業界及び一般消費者等の認知度向上や、国内における安定的な誘客を図る。

#### 戦略2 離島観光の推進

新石垣空港への路線誘致に取り組むほか、乗り継ぎ便やチャーター便を活用した旅行商品等の造成支援や、離島観光の魅力発信に取り組む。

#### 戦略3 沖縄観光ブランド力の強化

沖縄の文化や芸能、スポーツ等を活用した沖縄観光ブランド力の強化に努めるとともに、教育旅行の商品開発に対する支援やMICE誘致、リゾートウェディングの拡大等、付加価値の高い観光を推進する。

#### 戦略4 観光人材の育成

観光関連企業の経営者層向けのセミナーの開催や従業員向けの研修等に対する支援を行うとともに、沖縄特例通訳案内士の育成に向けた研修等を実施する。

#### 戦略5 観光客受入体制の充実・強化

安全・安心・快適な観光地の形成に向けて、県民のホスピタリティの向上や観光危機管理体制の強化に取り組むほか、外貨両替やWi-Fi機器の整備など外国人観光客の満足度向上に向けた取り組みを促進する。

- これらの取り組みを推進するため、市町村、(一財)沖縄観光コンベンションビューロー、地域の観光協会等との連携を図り、推進体制の充実強化を図っていく。
- また、陸上交通基盤など二次交通の課題や、産業間の連携等については、庁内各部局とも連携し施策を推進していく。

## 平成25年度の主な施策展開

### 【戦略1】国内外における戦略的な誘客活動の展開

#### ＜1. 海外市場への積極的な展開＞

海外市場における沖縄認知度の向上を目的に平成24年度に策定した沖縄観光ブランド戦略並びにプロモーション戦略に基づき、重点市場（台湾、韓国、中国、香港）及び、訪日旅行の拡大が見込まれる東南アジア（タイ、シンガポール、マレーシア）や成熟旅行市場である欧米豪を中心とする新規市場に対し、次の取り組みを実施する。

#### 官民一体となったブランド戦略の推進とプロモーション戦略の共有化

世界各地で沖縄観光ブランドイメージの定着を図るため、平成24年度に策定した沖縄観光ブランド戦略を継続的に推進する。また、エリア毎のプロモーション戦略の民間事業者への共有化を図りつつ、官民一体となった具体的な取り組みを推進していく。

【海外市場】行政による沖縄観光ブランド戦略の推進と民間事業者とのプロモーション戦略の共有化（イメージ図）	
ブランド戦略＝価値の創造（行政）	プロモーション戦略＝需要の創出（官民）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Be.Okinawa」コンセプトに基づくPV、ウェブ、販促ツールなどの作成</li> <li>・「Be.Okinawa」のブランド利用マニュアルの作成および利用促進</li> <li>・広告媒体を活用したイメージ露出</li> <li>・旅行博等でのイメージ露出、など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア毎の戦略をもとにターゲットとポジショニングを明確化</li> <li>・行政が主催する旅行博、商談会、招聘事業を活用した営業展開</li> <li>・助成事業等を活用した営業訪問の推進、など</li> </ul>

#### [1-1 海外の観光業界における認知度向上]

- (1) 旅行業界を対象とした旅行博への出展、セミナーの開催に取り組むほか、海外旅行会社のキーパーソンの招へいや県内事業者の海外商談支援、航空会社・旅行事業者とのタイアッププロモーション、旅行商品販売担当者の沖縄観光への理解促進等に取り組む。

- (2) (公財) 沖縄県産業振興公社や(一財) 沖縄観光コンベンションビューローの海外事務所、海外委託駐在員を活用し、日常的なセールス活動や、県内事業者と連携した取り組み等を推進する。

### **【1-2 海外の一般消費者における認知度向上】**

- (1) 沖縄ロケ映画・ドラマの誘致やロケ作品を活用した観光プロモーション等に取り組むほか、重点市場を中心に、一般向け旅行博や市場特性を踏まえたイベントへの出展、海外メディアの招へい等を実施する。
- (2) 観光情報ウェブサイト(おきなわ物語)やSNS等における市場特性を踏まえたきめ細かな情報発信を促進するほか、沖縄の魅力を紹介する動画・静止画コンテンツの拡充を図る。
- (3) 訪日中の外国人観光客に沖縄をアピールし、次の訪問地としての意識向上を促進するため、国内主要観光地における広告等を実施する。

### **【1-3 潜在的な市場の開拓可能性の追求】**

- (1) 急速な経済成長のもと、旅行市場の成長が著しいインドネシアやインド等を中心に、新規市場の拡張可能性について情報の収集に努めるとともに、これら市場の事業者における認知度向上にも取り組む。

### **《2. 航空路線等の拡充・強化》**

- (1) 国内航空路線の拡充を図るため、航空会社に路線開設や増便等を働きかけるとともに連携キャンペーンを展開するほか、発地側自治体との連携や乗り継ぎによる外国人観光客の誘致にも取り組む。
- (2) 海外航空路線の拡充を図るため、航空会社に路線開設や増便、チャーター便誘致等を働きかけるとともに連携キャンペーンを展開するほか、運行経費や旅行商品の造成等を支援する。
- (3) クルーズ船の寄港を促進するため、クルーズ船運航会社へのセールス活動を行うほか、キーパーソンの招へいや入港経費の支援等を実施する。

### **《3. 国内観光客の安定的な確保》**

- (1) 国内市場においては、年間を通じたプロモーションに加え、季節ごとにターゲットを明確にしたきめ細かなプロモーションを、県内の各地域観光協会等関係機関と連携しながら実施する。
- (2) 修学旅行の安定的な確保・拡大等を図るため、学校に対する事前・事後の学習の支援や継続実施学校への新たなメニュー等の提案や提供を実施するほか、新規リピーター需要や若年層をはじめとする沖縄旅行未経験者需要の開拓等にも努める。

## **【戦略2】 離島観光の推進**

- (1) 国内外からの離島航空路線の拡充を図るため、航空会社や関係機関への働きかけに努めるとともに連携したキャンペーンを展開するほか、乗り継ぎ便やチャーター便を活用した旅行商品の造成等を支援する。
- (2) 離島独自のプロモーション活動と全県的な展開との連動性を高めるとともに、旅行市場を踏まえたきめ細かな情報の発信、離島旅行商品の造成を促進するほか、離島観光コンテンツフェアを開催し、離島観光の魅力発信、旅行商品造成に向けた商談会を実施する。
- (3) 離島の魅力を投稿できる参加型専用サイトによる情報収集・発信とこれらの情報等の活用による観光メニュー造成を推進するとともに、観光情報ウェブサイト(おきなわ物語)における離島情報の拡充に取り組む。
- (4) 地元と連携し、新石垣空港開港に合わせた路線誘致や、先島周遊を含む新たな旅行商品造成等を促進するほか、受入体制拡充のため外国人観光客の満足度向上のためのセミナー等を開催する。

## 【戦略3】沖縄観光ブランド力の強化

### 《1. 新たな成長分野への支援》

- (1) 文化・芸能等を活用した観光誘客事業を拡充するほか、交通アクセスや情報発信等の課題解消に取り組み、観光資源化を促進する。
- (2) スポーツの活用により観光を推進・活性化するスポーツ・ツーリズムを沖縄に根付かせるため、サッカーキャンプやサイクリングイベント等のモデル事業を実施する。
- (3) 沖縄の自然、文化、スポーツ等の観光資源を横断的に結びあわせた沖縄オリジナルの感動体験を演出できる受入体制の整備や人材育成等に向けた戦略を構築する。
- (4) 安全・安心なダイビング環境を構築し、海外からのダイバーを受け入れる基盤を整備するため、ガイドダイバーの養成、セミナーの開催、新事業モデルの開発を行う。
- (5) 時間やお金に比較的余裕のあるシニア層に対する沖縄ロングステイ・スタイルの提案や、体験・滞在型の観光メニューの紹介により、長期滞在を推進する。
- (6) 自然環境等の保全に配慮し、環境と共生し持続可能な環境共生型観光を推進するため、市町村が行う環境保全活動や環境配慮施設の整備に対し支援するほか、エコツーリズムに関する情報発信、エコツーリズム推進体制の強化等を行う。
- (7) 沖縄に適合した健康保養型のツーリズムを確立するために、推進団体や事業者等と連携して受入体制の構築・高度化を図るとともに、県外・海外へのプロモーションを推進する。
- (8) 「学び」をテーマにした新たな旅行分野を「新・教育旅行」と位置付け、その創出に資する事業者等の商品開発の取り組みを支援する。また、海外教育旅行の誘致・受入を推進するため、小中高校生及び教育関係者の相互交流の機会を提供する。

### 《2. 特徴ある資源を活用した付加価値の高い旅行メニューの推進》

- (1) MICE誘致を拡大するため、国内外のMICE関係見本市や商談会への参加、MICEプロジェクト、MICEセミナーの開催により、旅行業界等における認知度向上を図るほか、キーパーソンの招へい等による県内事業者の商談機会を創出するとともに、事業者の海外セールス活動を促進する。
- (2) 沖縄リゾートウエディングを拡大するため、関連業界と連携し、海外市場の積極的な開拓を進めるとともに、県内観光事業者との更なる連携強化を推進する。

## 【戦略4】観光人材の育成

### 《1. 観光関連企業が行う人材育成への支援》

観光関連企業が抱える人材育成に関する課題を解決するため、企業が自ら企画した従業員向けの研修に対する支援を行うとともに、経営者層の意識啓発を図ることを目的に、経営者層向けのセミナーなどを開催する。

### 《2. 外国人観光客に対応した語学研修等支援》

- (1) 外国人観光客の受入能力向上のため、観光関連企業が実施する従業員向けの語学研修に対して支援を実施する。
- (2) 地域限定通訳案内士に加え、県が実施する研修を修了することにより外国語で観光案内することができる沖縄特例通訳案内士を育成する。

### 《3. 観光人材育成センターの活用・支援》

観光産業従事者の資質や地位の向上等を図るため、(一財)沖縄観光コンベンションビューロー内に設置されている観光人材育成センターが実施する研修事業等に対して支援する。

また、観光人材育成センターを活用して、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できる人材の育成を図る。

## 【戦略5】 観光客受入体制の充実・強化

### ＜1. 安全・安心・快適な観光地の形成＞

- (1) 県民一体となった受入体制を構築するため、県、（一財）沖縄観光コンベンションビューロー、観光関連団体等で構成する「めんそーれ沖縄県民運動推進協議会」を中心にクリーンアップキャンペーンや「かりゆしウェア」の普及促進等ホスピタリティの向上を図り、沖縄らしさの演出に努める。
- (2) 観光立県として官民一体となった受入体制の強化を図り、より質の高い観光地を目指すため、8月の「観光月間」における観光推進運動を全県的に展開し、県民の沖縄観光に対する意識の高揚と当該運動への積極的な参加を促す。
- (3) スポーツを目的とした来訪者の利便性向上のため、スポーツ・ツーリズムのワンストップ窓口として、スポーツアイランド事務局（仮称）を設置し、受入体制の強化を図る。
- (4) 観光客の受入体制の整備を促進するため、バリアフリーに対する意識啓発セミナーの開催や、障がい者等を対象とした観光メニュー開発への支援をするほか、今後の観光におけるバリアフリーの方向性を検討する。
- (5) 台風来襲時において、空港に滞留する観光客に対し、宿泊施設の紹介、ブルーシートの配付、一時避難所の提供等の支援を実施する。
- (6) 大規模災害発生時の観光客の安全確保や正確な情報収集・発信等、観光危機管理に関する取り組みを推進するため、セミナー及びシンポジウムの開催、観光関係者や観光客向けの災害等情報配信システムの運用等を行う。

### ＜2. 外国人観光客の満足度向上＞

- (1) 外国人観光客に対応するため、海外カード対応のATMや外貨両替機、Wi-Fi機器の導入を支援するほか、多言語観光案内板の設置や観光施設等の多言語表示を促進するとともに、コールセンターの設置による観光客への情報案内等を実施する。
- (2) インバウンド協議会を立ち上げ、民間事業者から行政機関まで幅広い参画を促し、インバウンド施策の共有化や一体となった課題解決を推進する。

### ＜3. 着地型観光の推進＞

- (1) 市町村や観光協会等の地域関係者が実施するモニターツアーへの支援やアドバイザーの派遣等、地域関係者と連携しながら、地域観光資源を活用した着地型観光メニューの充実を図る。
- (2) 観光誘客の拡大につながるエンターテイメントを創出するため、地域観光協会や民間企業等の自主的な取り組みを促進する。

### ＜4. 観光関連施設の整備促進＞

「観光地形成促進地域制度」の説明会等のPRを行い、当該制度の活用を促進することにより、観光関連施設の集積を図る。

# 平成25年度の沖縄県観光関連予算

(単位：千円)

区 分	平成24年度	平成25年度	
	当初予算額	当初予算額	対前年度比
沖縄県全体の当初予算額	680,673,000	698,825,000	102.7%
観光関連予算（合計）	9,270,621	7,462,923	80.5%
①観光客の誘致促進を図るために必要な経費	6,802,256	5,777,387	84.9%
②観光客の受入体制の整備等に要する経費	1,088,989	725,043	66.6%
③環境共生型観光地づくり、観光統計・調査、関係機関との連絡調整等に要する経費	332,114	326,277	98.2%
④その他	1,047,262	634,216	60.6%

※当初予算額であり、補正予算は含まない。

## 平成25年度の主なイベント

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
琉球海炎祭2013	■											
トライアスロン（宮古島市・石垣市）	■											
ハーリー（那覇・北谷・糸満など県内各地）		■	■									
海洋博公園サマーフェスティバル2013				■								
キジムナーフェスタ2013				■								
夏祭りin那覇2013 一万人のエイサー踊り隊					■							
夏の全島闘牛大会					■							
第58回沖縄全島エイサーまつり					■							
第49回青年ふるさとエイサー祭り						■						
第20回首里城公園「中秋の宴」						■						
世界エイサー大会2013						■						
第43回那覇大綱挽まつり							■					
琉球の祭典2013							■					
平成25年度首里城祭							■					
ツール・ド・おきなわ2013								■				
第29回NAHAマラソン									■			
第22回首里城公園「新春の宴」										■		
沖縄北部桜まつり（本部町、今帰仁村、名護市）											■	
プロ野球春期キャンプ、プロサッカー冬季キャンプ												■
第22回2014おきなわマラソン												■
第27回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント												■
沖縄国際アジア音楽祭 musix2014												■
第6回沖縄国際映画祭												■